

【筆耕】

奥	印	差	上	申	候	、	以	上				
御	上	納	可	仕	候	、	為	其	名	主	組	頭
奉	存	候	、	御	返	納	節	無	相	違		
御	拝	借	仕	百	姓	相	助	り	難	有		
右	之	人	別	小	前	之	通	、	夫	食		

【読み下し】（筆耕を読み言葉にしたもの）

右の人別小前の通り、ふじき夫食

御拝借仕り百姓相助り有ありがた難く

存じ奉り候、御返納の節相違無く

御上納仕るべく候、そのため名主組頭

奥印差し上げ申し候、以上

この文字に注目！

【御】



(二行目)



(三行目)

【相】



(二行目)



(三行目)

「御」「相」は古文書で頻出する基本的な文字なので形をしっかりと覚えましょう。

【難有】



(二行目)

【奉存候】



(三行目)

「難有」で「ありがたき、ありがたく」、
「奉存候」で「ぞんじたてまつりそうろう」とよみます。
古文書では頻出するのでこれらも覚えておきましょう。